



日本女性会議 2012 仙台

Japan Women's Conference in SENDAI

仙台宣言

日本のあり方を変えられると言われるほどの大災害を通して、私たちは、女性自身が「きめる」ことの重要性、女性自らが「うごく」ことの必要性を痛切に体験しました。これは、直接の被災地や災害時だけのことではなく、日本全体に関わる問題であり、日常的な課題であることを認識しました。

私たちは、「きめる、うごく」をテーマに真剣に議論を重ね、この日この東北の地から、今こそ声を上げていきます。

「防災」や「復興」は誰かがやってくれる、と人任せにせず、女性の視点を活かした新しいまちづくりに、積極的に関わります。

女性の貧困と困難を生み出す構造を見抜き、力を取り戻します。

様々な暴力・ハラスメントは根強く存在し、災害時に噴出しました。人権を踏みにじるあらゆる暴力を根絶する取り組みを強化します。

「性の健康と権利」はまだ十分に認識されず、たやすく脅かされる環境のもとにあります。この事実から目を背けず、その権利の確立を図ります。

私たちは、社会に影響を与える力を持ち、より多くの役割を果たすべきであることを自覚します。

支援する、されるの関係を固定化せず、エンパワメントした当事者の真の自己決定を尊重します。

私たちには「きめる」権利と共に、「うごく」力も責任もあることを確かめました。

私たちは、変革を推し進めるために連帯し、自身も歩みを止めず成長し続けます。

私たちは、今、ここから変革を起こしていきます。

そしてまた、この決意が実行されたことを確かめるため、ここ東北の地で再び会うことができるよう、歩み続けることを誓い、大会宣言とします。

2012年10月27日

日本女性会議 2012 仙台